



フルセグ車載用地上デジタルチューナー
高感度・ハイビジョン



取扱説明書

車載専用地上波デジタルフルセグTVチューナー

取扱説明書

- ・必ず最初に「安全上のご注意」をご覧ください。

このたびは車載専用地上波デジタルフルセグTVチューナーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

お求めのチューナーを安全かつ正しくご利用いただくため、お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後も、保証書とともに大切に保管し、必要な時にお読みください。

目次

ご使用の前に **01-07**

セット内容の確認	01
安全上のご注意	02
使用上のお願いとご注意	07

基本操作 **08-11**

各部品の名称	08
リモコンの使い方	09
リモコン使用上のご注意	11

テレビ画面 **12-15**

スキャン情報表示画面	12
------------	----

B-CAS情報表示	13
受信情報表示	14
テレビ画面 表示アイコン説明	15

メニュー設定 **16-26**

取付方法 **27-40**

その他 **41-42**

FAQ **43-45**

ご使用前に

セット内容の確認

- ◆ 以下が揃っているかをお確かめください。
- ◆ 以下のセット内容品以外をお求めの場合は、別途お買い求めください。

セット内容/名称



チューナー本体 1個



リモコン(電池なし) 1個



赤外線 (IR)
受信ケーブル 1本



アンテナ 4セット



電源AVケーブル 1本



IRとタッチの2in1
変換ケーブル 1本



Mini B-CASカード 1枚



ケーブルクランプ 4個



日本語説明書 1冊



保証書 1冊

安全上のご注意

◆最初に必ずお読みください。

商品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の方へ加わる危害と、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。



禁止

「死亡、または重傷を負うおそれがある」内容
具体的な禁止内容は、近くの文書で示します。



注意

「指示する行為を強制的に行う必要がある」内容
具体的な強制内容は、近くの文書で示します。



警告

「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容
具体的な注意内容は、近くの文書で示します。

警告：

- 異常や故障のとき



煙が出ている、変なおいが出るときは、ただちに使用を中止してください。

火災・感電の原因となります。

煙が出なくなるのを確認し、お買い上げストアにご連絡ください。



内部に水や異物が入ったら、ただちに使用を中止してください。

火災・感電の原因になります。

お買い上げストアにご連絡ください。



落したり、カバーを破損したりしたときは、ただちに使用を中止してください。

火災・感電・ケガの原因となります。

お買い上げストアにご連絡ください。

- 設置するとき



システムの動作に影響する位置に取付けないでください。

事故・ケガの原因となります。



前方の視野を妨げる場所、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には、取付けしないでください。

事故・ケガの原因となります。



DC9-40V の車に設置してください。他の用途で使わないでください。

事故・故障の原因となります。

- 使用するとき



分解・改造しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。



ケーブルの被覆を切ったり、他に機器の電源を取ったりしないでください。
火災・事故の原因となります。



雷が発生しているときは、本機やケーブルを触らないでください。
感電の原因となります。



ぬれた手で本機を触らないでください。
感電・故障の原因となります。



車以外には使わないでください。
感電・ケガの原因となります。

注意：

- 設置するとき



水のかかる場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

火災・感電の原因となります。



振動の多い場所、固定できない場所に置かないでください。

火災・感電・ケガの原因となります。



通風口、放熱部を塞ぐ場所に置かないでください。

火災・感電・ケガの原因となります。

- 使用するとき



MiniB-CASカードなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。
ケガの原因となります。
万が一、飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。



包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意してください。
窒息の原因となります。
万が一、飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

使用上のお願いとご注意

■ 日本国内用

本セットは日本国内用です。外国では使用できません。

■ 取り扱い方

本セットは、精密部品で組み立てられています。初期性能を維持するには、やさしく丁寧なお取り扱いをお願いします。

■ 免責事項について

地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他の異常な条件での使用によって生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。

取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

接続機器との組み合わせによる誤作動や動作不能、誤操作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

基本操作

各部品の名称

■ チューナー本体

- 1.電源LED
- 2.マルチ入出力端子(電源AVケーブル接続用)
- 3.USBスロット
- 4.Mini B-CASカード挿入口
- 5.アンテナ端子
- 6.HDMI出力端子
(HDMIケーブルは付属していません。別途お買い求めください。)
- 7.右チャンネル出力
- 8.左チャンネル出力
- 9.ビデオ出力



■ 専用リモコン

- | | | |
|---------------|----------|----------|
| 1. 電源 | 10. CH- | 19. 退出 |
| 2. ミュート | 11. 初期化 | 20. 下へ |
| 3. 数字(1 ~ 12) | 12. スキャン | 21. VOL+ |
| 4. 設定 | 13. 番組表 | 22. VOL- |
| 5. 前へ | 14. 番組内容 | 23. オート |
| 6. 表示 | 15. 戻る | 24. ワンセグ |
| 7. 言語 | 16. 上へ | 25. フルセグ |
| 8. CH+ | 17. 次へ | 26. データ |
| 9. 音声 | 18. 決定 | 27. 字幕 |

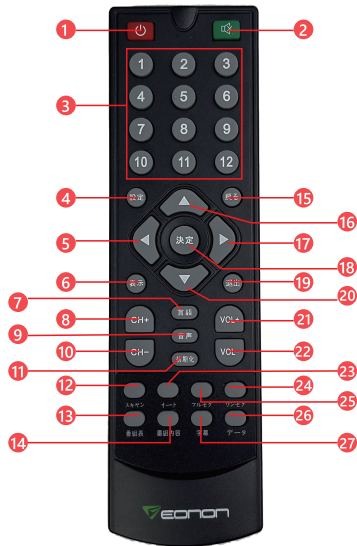
リモコンの使い方

電源:電源のON/OFFを切り替えます。

本体電源LEDが赤でON、消灯でOFFです。

ミュート:ミュートします。

数字:数字を入力するとき(チャンネル選択等)に使用します。



設定：設定メニューが表示され、方向ボタンでメニューを選びます。

戻る：設定操作を1つ前に戻し、または前の画面に戻ります。

選択：方向キー。設定表示中のメニュー項目を選択します。

決定：各操作内容を決定します。

CH (+/-)：視聴チャンネルを1つずつ切り替えます。

VOL (+/-)：音量を調節します。「+」で音量が上がり、「-」で音量が下がります。

表示：プログラムリストを開きます。

退出：設定画面に戻ります。

言語：言語を選びます。

音声：左チャンネル、右チャンネル、ステレオを選択します。

初期化：工場出荷初期化に戻ります。

スキャン：番組を検索します。

オート：自動モードを設定します。

フルセグ：フルセグモードを設定します。

ワンセグ：ワンセグモードを設定します。

番組表：番組リスト表示。

番組内容：番組内容表示。

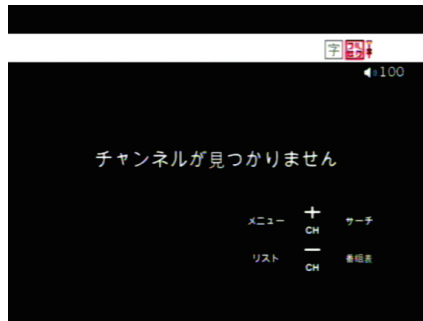
字幕：字幕設定画面へ。

リモコン使用上のご注意

- 本体に向けてリモコンのボタンを押してください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 各ボタンの名称を確認してください。

テレビ画面

スキャン情報表示画面



- アンテナを本体に接続し、電源を入れる
- 12V～24Vの電源を使用する
- スキャンが完了していない場合にこのメッセージが表示されることがあります
- メニュー画面からスキャンを行ってください

B-CAS情報表示

スタート→「B-CASカードをご確認ください」と表示された場合



- スキャンが完了後画面に何も映らない、または「B-CASカードをご確認ください」というメッセージが表示された場合、B-CASカードが挿入されていません。
- B-CASを本体B-CASスロットに挿入してください。
- 画面にフルセグマークまたはB-CASマークが表示されない場合は、B-CASカードが挿入されていない可能性があります。スロットを確認してください。

受信情報表示

スタート→「信号が弱いまたはありません」と表示された場合



■画面に「信号が弱いまたはありません」と表示された時は、

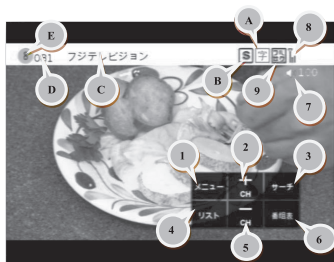
アンテナが正しく接続されているか確認してください。

■アンテナが接続されていてもこのメッセージが表示される場合は、

アンテナを遮蔽物から離れた場所に移動してください。

テレビ画面 表示アイコン説明

スタート>画面表示



(1) メニュー

(4) プログラムリスト

(7) 音量表示

(A) 字幕

(D) 受信中のテレビ局番号

(2) チャンネル+

(5) チャンネル-

(8) 信号の強さ

(B) 受信中の番組の音声モード

(E) 受信中のチャンネル

(3) サーチ

(6) EPG番組表示

(9) フルセグ/ワンセグ

(C) 受信中の番組名

メニュー設定

スタート > 設定



(1) 受信設定

(2) 番組設定

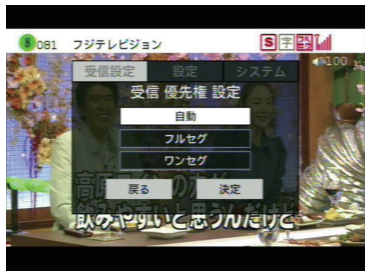
(3) システム設定

設定メニュー > 受信設定

基本操作

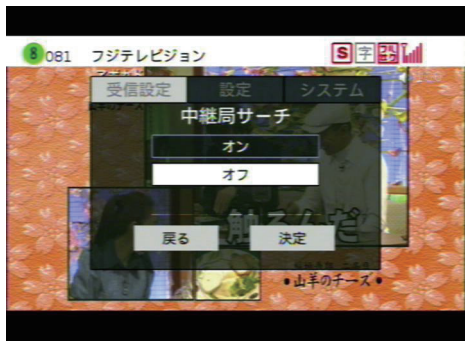
1. 「設定」ボタンを押す
2. 方向ボタンで設定する位置へカーソルを移動
3. 「決定」ボタンを押して設定を完了する

「受信優先権設定画面」



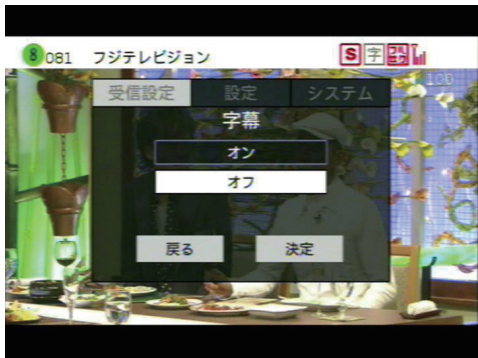
「中継局サーチ設定画面」

設定する位置にカーソルを合わせて「決定」ボタンを押す。



「字幕設定画面」

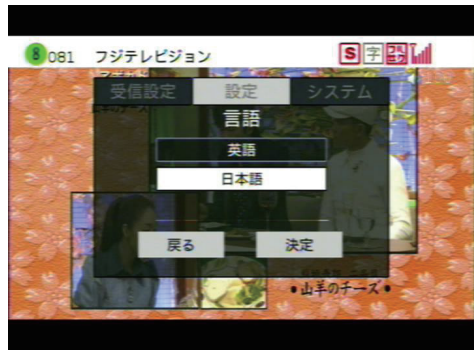
「オン」または「オフ」にカーソルを合わせて「決定」ボタンを押す。



設定メニュー > 番組設定

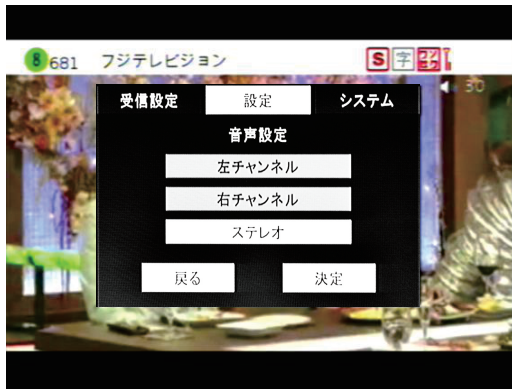
「言語設定画面」

設定する言語にカーソルを合わせて、「決定」ボタンで設定を完了します。



「音声設定画面」

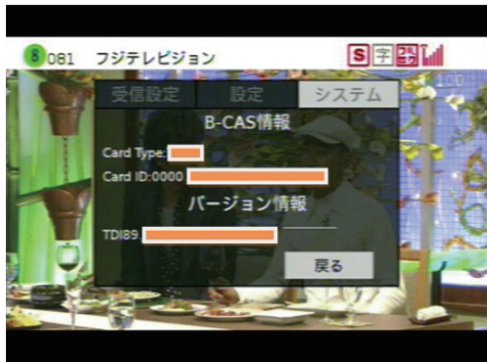
設定する音声モードにカーソルを合わせて、「決定」ボタンで設定します。



設定メニュー>システム設定

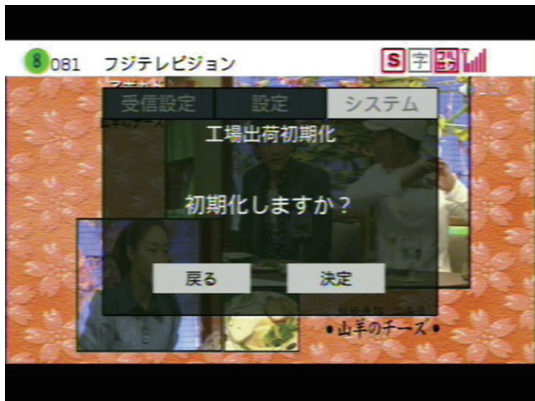
「システム設定画面」

カーソルを合わせて、B-CASカードのバージョン情報を確認します。



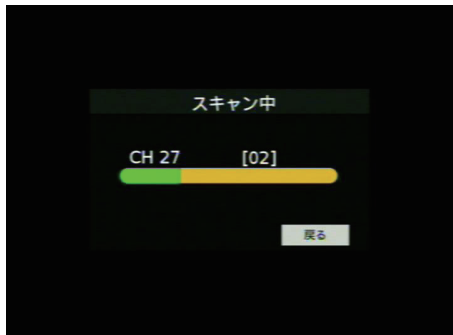
「初期化設定画面」

「決定」を選択して、初期化設定を行います。



チャンネルスキャン

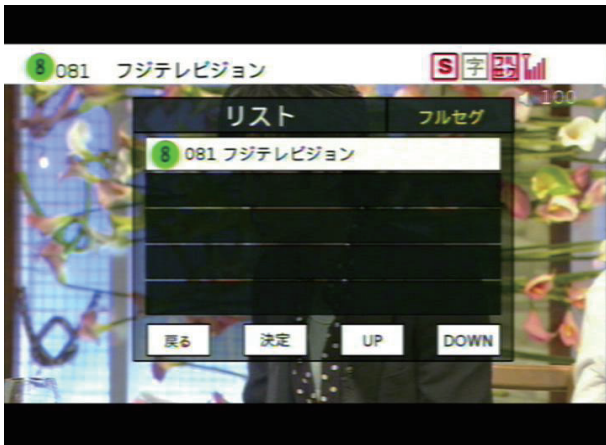
サーチ > チャンネルスキャン



サーチ > 中継局サーチ

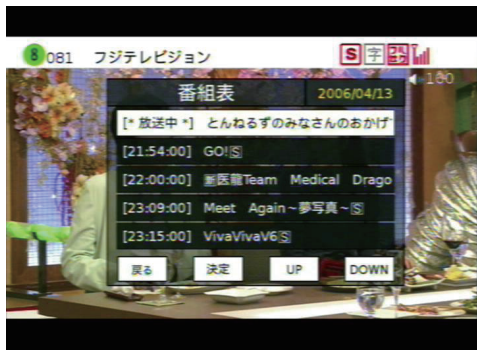


チャンネルリスト

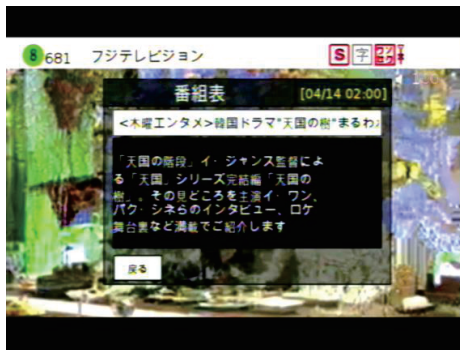


EPG番組表

EPG > EPG



EPG > EPG詳細情報



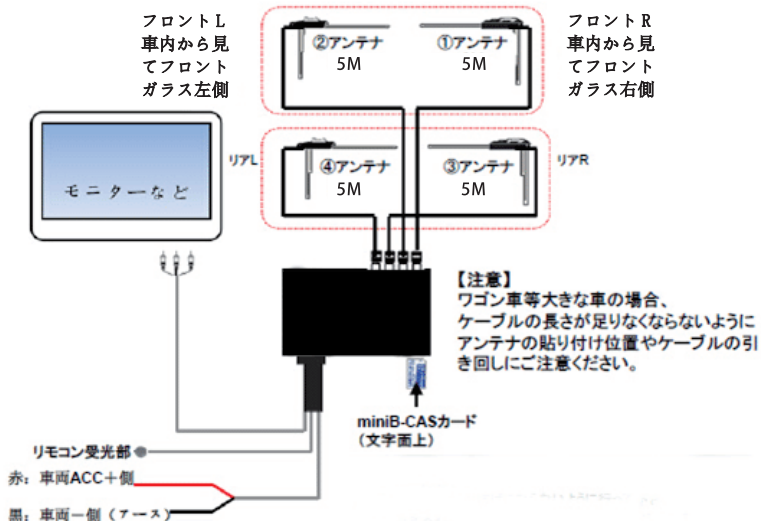
取付方法

システムの接続

- ・付属のmini B-CASカードを「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込んでください。
(表裏逆に挿入するとテレビは受信できませんので、ご注意ください。)

下図のように付属のケーブルをチューナー本体に接続してください。

- ・アンテナケーブル4本をアンテナ端子に接続してください。どの端子でも構いません。
- ・リモコンの届く範囲に設置したリモコン受光部のケーブルをケーブルセットの端子に接続してください。
- ・車のACC電源(+12Vまたは+24V)から電源が取れるようにケーブルセットの電源コードを配線・接続します。
- ・最後に、ケーブルセットの端子をマルチ入出力端子に接続してください。
- ・配線の際は、車のキーを抜いて行って下さい。
- ・配線は、運転の妨げにならないように行って下さい。
- ・電源を入れると自動的にチャンネル検索が始まります。チャンネル検索の際は、見晴らしが良く、電波の受信環境の良い場所に車を停めて行って下さい。受信環境の悪い場所で行ったり、チャンネル検索中に移動したりすると放送局が受信できない場合があります。
- ・地域/エリアを移動するなど受信できる放送局が変わる場合や、受信環境等で放送局の検索がスムーズに行えない場合は、再度受信環境の良い場所ですばらく停止して行ってください。



フィルムアンテナ貼り付けに付いて

取り付け上の注意

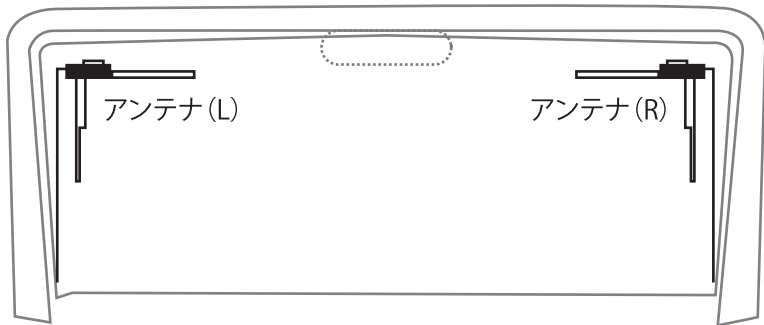
- 保安基準※に適合させるため、本書をよくお読みになり正しく取り付けてください。
※保安基準とは道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、平成15年9月26日付けの運輸省（現、国土交通省）令第95号を言います。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが故障ではありません。
- アンテナはウインドウに貼り付ける専用です。ウインドウ以外の場所には貼り付けないでください。
- 車種によっては貼り付けられない場所があります。その場合は販売店に確認してください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不適合ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には受信感度が極端に低下します。その場合はお買上げ販売店に確認してください。
- 必ず社内の貼り付け場所に市販のテープなどでいったんフィルムアンテナを仮止して、お使いのラジオやテレビにノイズなどが入らないか確認してください。ノイズが入る場合はフィルムアンテナの位置を調節してください。
- フィルムアンテナの透明フィルムやホルダーの裏シートを剥がした後は、金属接点などに手を触れないでください。静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には貼り付けることができません。

- 必ずウインドウの指定された位置、寸法内に貼り付けてください。
- フィルムアンテナを折り曲げないように注意して取り付けてください。
- 作業場所は風がなく、空気中にゴミ、ほこりなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時には、接着力の低下を防ぐため車内にヒーターやデフロスタースイッチをONにしてウインドウを暖めてから作業を行ってください。
- 一度貼り付けてから、剥がすと粘着力が弱くなるので、貼り直しできません、必ずコード及びフィルムアンテナを仮止めしコードの引き回しなどを十分に確認してから、貼り付けてください。

次のような場所では映りにくいことがあります

- ビルとビルの間
- 送電線が近くにある場所
- 放送局から遠い場所
- 山かげや木立のかげになる場所
- 上空を飛行機が通過または、電車が近くを通過している場所
- 自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどが近くにある場所
- ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナが近くにある場所

フィルムアンテナ貼り付け位置

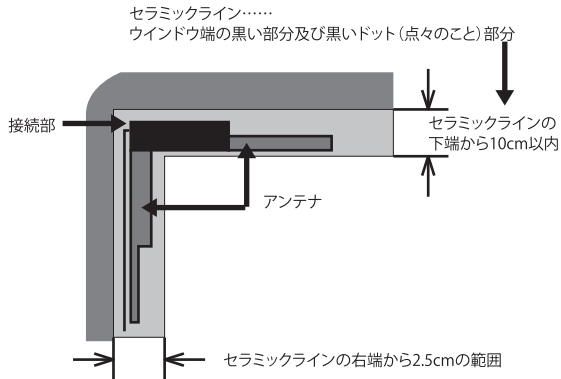


※ 上図はフロントウインドウ内側にアンテナ貼り付け位置です、リアウインドウもこの図を参考に貼り付けてください。

※ アンテナ (L)、(R) は、車正面から見た時の左右を表します

貼り付け許容範囲について

セラミックラインの上には貼り付けないでください



必ずお守りください

運転に安全な視界を確保し、性能を十分に発揮させるために必ず(接続部の貼り付け許容範囲)の位置に貼り付けてください。アース部を車両の金属に貼り付けてピラーなどの内張りでおさえるため車両の金属部に届く範囲に貼り付けてください。また、許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せずに車検が通らなかつたり、整備不良の対象となります。

給電端子は必ず取り付け許容範囲内(////部)に取り付けてください。
取り付け許容範囲外に取り付けると車検の時に不適合となります。

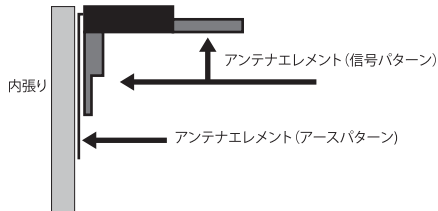
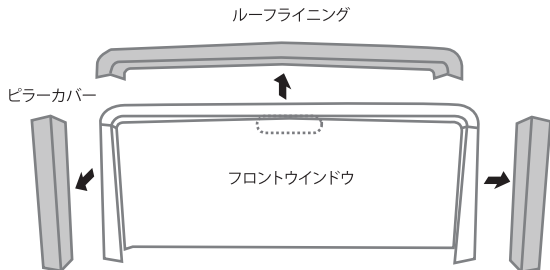
フィルムアンテナ貼り付け

1.アンテナの仮位置を決める

- アンテナ貼り付け位置、取り付け許容範囲についてを参考して仮位置をきめてください。
- アンテナの貼り付けの際、車内の内張り(ピラー、ルーフライニングなど)に接続部が当たらないように仮位置を決めます

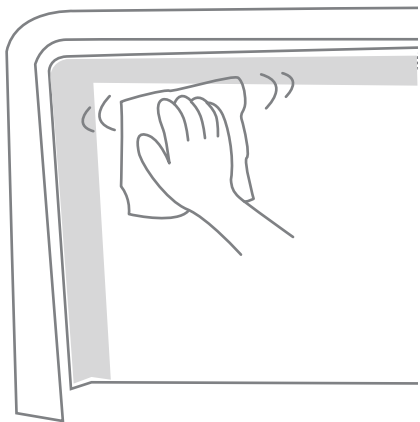
2.車内の内張り(ピラー、ルーフライニングなど)を取り外す

- コードを引き回す仮位置を決める



3. ウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

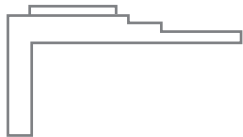
- アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを付属のクリーナーで取り除いてください。



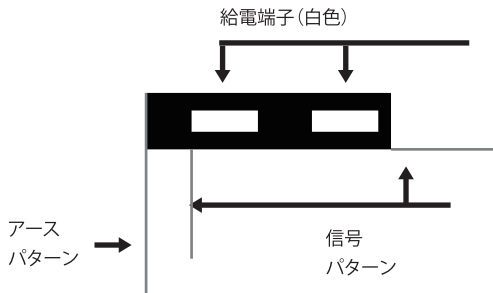
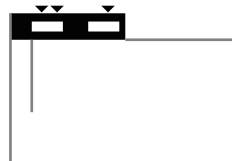
4. フィルムアンテナの構成とセパレーターの剥がし方

- アンテナは2層に分かれています。
- エレメントの銀色部が給電端子です。

セパレーター



車内からみて左側に貼るアンテナ

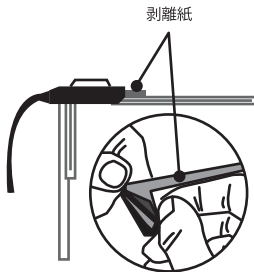


※ルーフライニングやピラーカバーを取り外す場合は十分注意して作業してください。専門のお店で作業してもらうことをおすすめします。

5.アンテナをウィンドウに貼り付ける

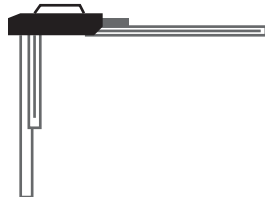
貼り付ける面の紙を剥がします。
左上に貼り付けます。

※黒い面を車内に向けて貼り付けてください。
※図は車内から見た左側です。
右側貼る方法は左側と同じです。



6.手前側のフィルムを剥がす

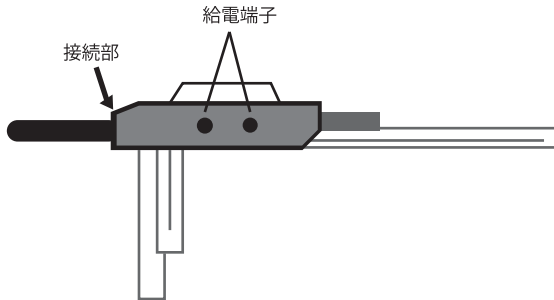
粘着テープなどを使用して透明フィルムの端に貼り付けます
粘着テープを持ってエレメントがウィンドウ面に貼り付いていることを確認しながら、
ゆっくりと丁寧に透明フィルムを剥がしていきます。



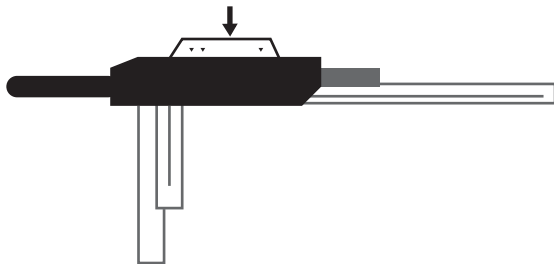
7.接続部をエレメントに貼り付ける

接続部の裏面にある、はくり紙を剥がします。

アンテナの▼▼と接続部の||が合うように、アンテナの▼と接続部|が合うようにして図のような向きで接続部をアンテナに貼り付けます。このとき、給電部の端子がアンテナの接点(白い部分)になるように、位置をあわせてください。



アンテナの▼▼と▼と接続部の||と|位置を合わせてください



注意:接続部の給電端子部が見れることが確認してください。

- 貼り付けをくり返すと、はがれの原因になります。

リモコン受光部の取り付け

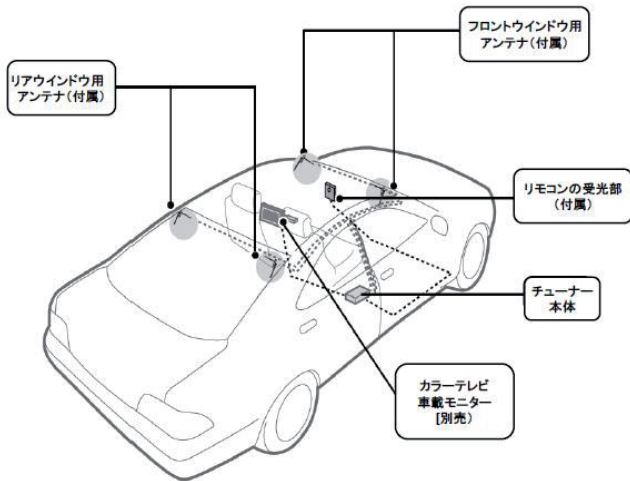
取り付け上のご注意

- ・リモコン受光部を貼り付ける場所の汚れをきれいに拭き取ってから、リモコン受光部を貼り付けてください。
- ・リモコン受光部の裏面のシールを剥がして、センターコンソール(下図のように)など平らな面に貼り付けてください。

※必ずお守りください

- ・直射日光の当たるダッシュボードの上には、絶対に取り付けないでください。
高温により故障する恐れがあります。
- ・リモコンの信号が届く範囲内に取り付けてください

下図の取付け方は参考用ですので、取付の際は実際の状況によってお取付ください。



その他

仕様

車載専用地上波デジタルフルセグTVチューナー

電源：DC9V~DC40V

受信テレビジョン信号：ISDB-T フルセグ/ワンセグ自動切替

受信テレビジョン信号周波数範囲：170~770MHz(UHF)

アンテナ受信技術：4X4

受信可能最高速度：150km/h

EPG(電子番組ガイド)情報対応

HDMI1.4出力対応

CVBSビデオ信号出力対応(PAL/NTSC選択可)

自動/手動スキャン：可能

字幕表示：対応

メニュー言語：日本語/英語

アップデート：USB対応

電源記憶機能

アンテナ端子：SMA

AV出力端子×1

RCA映像出力 2系統

RCA音声R&L出力 2系統

外形寸法：140 x 88 x 33mm

総重量：1.1kg

お知らせ：

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本取扱説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。

FAQ

質問:

チャンネルサーチの途中で完了せずに終了してしまい、「チャンネルが見つかりませんと表示されます」/「B-CASカードをご確認ください」と画面に表示される場合/「信号が弱いまたはありません」と画面に表示される場合/最近まで正常に受信していましたが、突然受信できなくなりました。/ワンセグは映るのですがフルセグが映りません。

答え:

1. 配線を接続しなおし、B-CASカードを挿入しなおしてみてください。
2. アンテナを貼付している場所に断熱フィルムが貼ってあると受信状況に干渉します。アンテナを貼付する場所だけフィルムをくりぬいてください。また、設置場所のガラスが熱戦反射ガラスや断熱ガラス、UVカットガラス、電波不透過ガラスなどの場合も受信感度が低下する可能性があります。
3. 走行スピードや、高層ビルなどの建造物の付近、トンネルや電波塔の付近などの位置関係、または地形的条件など環境によって信号の受信状態に影響が及ぶ可能性があります。それらに該当しない状況のもとで再度試してください。

質問:

電源が入りません

答え:

1. 当商品V0051はリモコンで電源をON/OFFします。通電しているのにリモコン操作が反応しない場合はリモコンが信号を発信しているか確認し、電池を交換しても発信していない場合は、リモコンを交換してください。リモコンが信号を発信しているのに無反応の場合はリモコン受信器を交換してください。また、リモコンとリモコン受信器の間に信号を遮断するものがないか、操作する際リモコンの発光部を受信器に向けているかご確認ください。
2. 配線の接続を確認してください。本製品は動作電圧12V仕様です。お車の出力電圧と対応しているか、また電圧が安定して給電されているかご確認ください。

質問:

リモコンが無反応です

答え:

リモコン操作が無反応の場合は、以下の点につきましてご確認をお願いいたします。

※リモコン用電池は付属していません。必ずお客様ご自身でご用意ください。

1. android (アンドロイド) 携帯のカメラ機能、またはデジタルカメラを起動してリモコンの信号発信部分を映したまま、リモコンのいずれかのボタンを押して、リモコンの発信部が点滅するか確認してください。
2. 点滅しない場合、リモコン不具合のため赤外線信号を発信していない可能性がありますので、弊社までご連絡ください。新しいリモコンをお送りいたします。
3. 点滅している場合は、本体またはリモコン受信機の不具合の可能性があります。弊社までご連絡ください。詳細をお伺いして対応いたします。
4. もし他の操作は有効なのにスキャンサーチだけ反応しない場合；地デジチューナーのアンテナの接続が緩んでいないかご確認ください。